

## 2050年の君たちへ3 消える仕事、生まれる仕事

突然ですが、みなさんは将来どのような仕事に就きたいと考えていますか。先生、スポーツ選手、看護師、美容師、公務員、エンジニア、ゲームクリエイターなど、さまざまな夢を持っていることでしょう。

ここで皆さんに考えてほしい問いがあります。「君の夢は、本当に未来にも存在しているだろうか？」驚くかもしれませんが、2050年には、今ある仕事の多くが形を変えていると言われています。その大きな理由

が、AI（人工知能）やロボット技術の急速な発達です。今でもスマートフォンの翻訳機能や自動運転技術、生成AIなどが私たちの生活に入り始めています。10年前には考えられなかったことが、今では当たり前になっています。これから20年以上がたてば、その変化はさらに大きくなるでしょう。

例えば、レジでの会計はセルフレジが増えています。工場ではロボットが製品をつくり、倉庫では自動搬送システムが荷物を運んでいます。事務作業もAIが代わりに行う場面が増えています。「決められたことを正確に繰り返す仕事」の多くは、自動化される可能性が高いのです。では、人間の仕事はなくなってしまうのでしょうか。答えは「いいえ」です。仕事なくなるのではなく、仕事の内容が変わるのです。

かつて日本には電話交換手という仕事がありました。しかし電話機の発達によってその仕事はなくなりました。その一方で、インターネットの普及によって新たにウェブデザイナーやアプリ開発者、動画クリエイターなどの仕事が生まれました。歴史を振り返ると、技術の進歩は仕事を減らすだけでなく、新しい仕事を生み出してきました。

2050年も同じです。AIが発達することで、AIエンジニア・データサイエンティスト・ロボット開発者・デジタル教育デザイナー・再生可能エネルギー関連技術者など、今よりもさらに多くの新しい仕事生まれているかもしれません。実際に、社会ではAIやロボットを活用できる人材が大幅に不足すると予測されています。また、働き方そのものも大きく変わると考えられています。これまでは一つの会社に長く勤め続けることが一般的でした。しかし近年は転職する人が増え、中途採用も拡大しています。将来は転職が特別なことではなくなり、自分の能力や専門性を生かして複数の会社や仕事を経験することが当たり前になるかもしれません。さらに、「ジョブ型社会」と呼ばれる働き方も広がっています。これは、「会社に入る」のではなく、「どのような仕事ができるか」で採用される考え方です。例えば、「英語が得意」「プログラミングができる」「人と協力して課題を解決できる」「デザインができる」など、自分の強みや専門性が重視される社会になっていくのです。

では、そんな未来に向けて、今の皆さんは何を身に付ければよいのでしょうか。私は、次の三つが特に重要だと思います。一つ目は、**学び続ける力**です。2050年には、今存在しない仕事の数多く生まれているでしょう。そのため、一度学べば終わりではありません。大人になってからも学び続ける姿勢が必要になります。二つ目は、**自分で考える力**です。AIは答えを探すことは得意ですが、「何を課題にするか」を決めるのは人間です。未来では、正解を覚えるだけでなく、自ら問いを見つける力が重要になります。三つ目は、**人と協力する力**です。どれだけ技術が進歩しても、人を励ましたり、仲間と協力したり、相手の気持ちを理解したりすることは人間にしかできません。皆さんは今、学校生活の中でその力を少しずつ身に付けています。授業で仲間と話し合うこと。部活動で協力すること。七中祭や体育の部で力を合わせる。自分の役割に責任を持って取り組むこと。その一つ一つが、未来を生きる力につながっています。

2050年を生きる皆さんに必要なのは、「なくならない仕事を探すこと」ではありません。どんな時代になっても、新しいことを学び、自分を成長させ続けることができる人になることです。

最後に、もう一度問いかけます。2050年、あなたがなりたい職業はどのように変化しているでしょうか。そして、その未来に向けて、今の自分は何を学び、どんな力を伸ばしていけばよいでしょうか。未来は予測するものではなく、自らつくるものです。皆さん一人ひとりが、自分らしい未来を切り拓いてくれることを期待しています。

データで見る2050年の日本

【現在から2040年～2050年に向けて】

○労働力不足は約1,100万人に達すると予測

○AI・ロボットを活用できる人材は約326万人不足

○事務・販売・サービスなど一部の仕事は自動化が進行

○転職が当たり前の時代へ

○「会社に合わせる働き方」から「自分の専門性で選ばれる働き方」へ変化

○ジョブ型雇用の拡大が進む

## 家庭学習を考える2 ～頭で理解した次は、行動・実践～

1・2年生は教育相談が行われています。授業や学習のことについて担任の先生と話をした人もいたことでしょう。3年生は10月進路懇談を終え、自分の進路希望について具体的な話を進めたところです。次の定期テストや進路実現に向けて、それぞれが目標を定める機会になったのではないのでしょうか。

懇談では、「成績を上げる」「提出物や課題をきちんと提出する」「授業を大切にすること」「受験に向けた学習を進める」など、一人ひとりが様々な話をしたことと思います。何をしなければならないのか、頭では理解しているはずですが、次に必要なのは、行動し、実践することです。

今週で定期テスト3の3週間前となります。皆さんには、ぜひテスト当日の自分の姿をイメージしてほしいと思います。テスト当日に、「ノート整理も終わり、理解すべき内容はしっかり押さえられている」「提出物はすべて完成し、提出できる状態になっている」「練習問題は1回だけでなく繰り返し取り組み、特に間違えた問題はそのままにせず、先生や友達に聞いて解けるようになっている」そんな状態で自信を持ってテストに臨んでいるのでしょうか。そのためには、以前お話しした『逆算』の考え方が有効です。テスト当日にどのような状態でいたいのか。そのためには、1週間前には何が終わっていないといけないのか。2週間前には何をしておかなければならないのか。さらに今週は何をすべきなのか。ゴールから逆算して、自分自身で計画を立ててみてください。

もちろん、計画がすべてその通りに進むとは限りません。予定どおりにいかないこともあるでしょう。しかし、それは失敗ではありません。大切なのは、その時々で自分の現在地を確認し、計画を修正しながら前に進むことです。自分の現在地を確認する。行動する。振り返る。そしてまた行動する。この繰り返しで、皆さんを成長させます。もし途中で困ったり、分からなくなったりした時は、一人で抱え込まないでください。担任の先生、教科担当の先生、友達、家族など、周りには皆さんを支えてくれる人がいます。遠慮なく頼ってください。必ず力になってくれるはずです。

定期テストまでは、まだ3週間あります。3週間しかない、と考えるか、3週間もある、と考えるかでこれからの結果は大きく変わります。ぜひ今日から、自分の目標に向かって具体的な行動を始めてください。小さな積み重ねが、自信となり、成果となって皆さん自身に返ってくるはずです。

## 先輩からのメッセージ1

先週、2日間、教職志望の大学生7人が学校研修に来られました。その際、私から、人生の先輩として七中生にメッセージを送ってほしいと依頼しました。以下、皆さんへのメッセージです。

●私が中学生のうちにやっておけばよかったと思うことは、英語の勉強です。私は現在観光地にあるカフェでアルバイトをしており、海外からのお客様と関わる機会が多くあります。ドリンクのサイズや商品について簡単な英語で話すことはできますが、そこから会話を広げることが難しく、もっと英語を勉強しておけばよかったと、後悔しています。さまざまな国の人と関わることは貴重な経験であり、英語ができれば、もっと多くの人と交流できると感じています。また、これからは更にグローバル化が進み、英語を使う機会も増えていくと思います。私自身、将来の仕事でも英語が必要になるため、今も苦手意識と向き合っています。中学校で学ぶ英語は、簡単な日常会話の基礎にもなります。だからこそ、中学生のうちから英語をしっかり勉強し、自分の可能性や将来の選択肢を広げてほしいです。

●私が中学校時代に頑張ったよかったと思うことは、部活動と勉強の両立です。私は中学校時代バスケットボール部に所属していました。初めの頃は、部活動から帰宅すると疲れて寝てしまいたい、勉強を疎かにすることがありました。しかし、部活動を通して、練習に一生懸命取り組むことの大切さを学びました。そこから、限られた時間を有効に使い、勉強にも力を入れるよう努力しました。すると、苦手な勉強でも頑張った分、良い結果がついてくるだけでなく、大好きなバスケットにより全力で取り組めるようになったと思います。この経験から、好きなことだけでなく、苦手なことにも一生懸命取り組むことで、自分に自信がつき、努力し続ける力が身につきました。苦手なことを頑張ることは、辛いことでもあります。目の前のことを一つ一つに一生懸命取り組んだことは、その先の自分に活かされていると今実感しています。この先も、辛いことや壁にぶち当たることもあると思いますが、中学校で学んだことを忘れずに、前へ進み続けたいです。

●私は中学校2年生の時に身体を壊してしまい、入退院を繰り返す毎日を送っていました。そんな体調でも最初は頑張って中学校に通っていたのですが、（調子が悪く）次第に通えなくなってしまいました。そんな中で当時の担任の先生が毎日私の家まで通ってくださり、授業のポイントやテスト対策をしてくださいました。その姿にあこがれたのが、私が教職を志した原点です。それまでは夢もなかったのですが、卒業して高校1年生になった時に、その有難味をしっかりと感じ、そのような教員に私もなりたいたい！と思いました。今、夢がないからと焦る必要は一切ありません。夢は意外なところから、ひょっこり現れます。また、中学校時代にできた友人は一生ものです。私は卒業して、もう7年経ちますが、未だに中学校の仲間たちと集まって、ドライブや旅行に行ったりしています。友達を大切に七条中学校ライフを満喫してください。